

平成 29 年度大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会における 調査・検討事項及びスケジュール（案）

【主な調査・検討事項】

（1）災害廃棄物対策行動計画の策定及び改定等を見据えた検討

平成 29 年 3 月 2 日に開催された大規模災害発生時廃棄物対策近畿ブロック協議会（以下、「近畿ブロック協議会」という。）において、近畿ブロック災害廃棄物対策行動計画（以下、「行動計画」という。）の案について議論した。その後の意見聴取も踏まえ、行動計画を策定する。

また、行動計画（第 1 版）の策定後に、近畿ブロックの特性に留意しつつ、更に、大規模災害のケーススタディーの実施や同計画の改定を見据えた検討を行う。その際、少人数によるワーキンググループの開催や個別訪問により、近畿ブロック協議会構成員等による幅広い意見交換を行うほか、近年発生した災害における自治体の対応事例等を踏まえて行動計画（第 1 版）の記載内容の点検を行う。

（2）災害廃棄物の処理に係る調査の実施

平成 28 年度に近畿ブロック内の自治体（府県、市町村、一部事務組合）を対象に実施した調査について、基本情報の補完（変更事項の確認等）を行う。

また上記のほか、災害時に活用可能な資機材（府県、市町村、一部事務組合による備蓄分以外）について、主要なレンタル事業者を対象に調査を行い、災害時に活用可能な資機材（簡易トイレ、バキューム車、パワーショベル等）の種類・量等について整理する。

（3）災害廃棄物対策に係るセミナーの開催

東日本大震災、熊本地震等の大規模災害時における廃棄物処理の実態及び教訓等について情報を共有することを目的に、近畿ブロックの自治体の廃棄物担当者を主な対象としたセミナーを 1 回開催する。

【スケジュール】

※時期についてはあくまで目安であり、今後の状況によって変更の可能性はある。

